

「軸」と「修正力」を育む場として欠かせない教科外活動

2月号の特集に掲載された全ての教科外活動は、どれも生徒の「軸」と「修正力」を育む非常に優れた取り組みである。生徒が生き生きと高校生活を送っている学校は、いずれも教科外活動が充実している。視点をええれば、充実した教科外活動は教科学習や将来設計にも良い影響を及ぼすものである。座談会からは、教科外活動を通して生徒同士が高め合う場やロールモデルと出会う機会を提供し、それぞれの学校において生徒の「軸」と「修正力」を育む教育がなされていることがよく伝わってきた。「福井県立若狭高校・中森一郎」

部活動での努力が学習に良い影響を与えることを実感

2月号の特集で取り上げられた、千葉県立船橋古和釜高校こわがまの事例が大変参考になった。自分の好きな野球がより上達できるように工夫する中で、自信を持つようになったこと、そして野球だけでなく、自身の生活・学習全般の細かいところまで気を配れるようになり、それが大きな向上心につながっている様子がよく分かった。かねてから、高い目標を実現するには、自分のやるべきことに対して手を抜かずに取り組むことが大切だと感じていた。好きなことにしか目を向けることが出来ない生徒を指導するに当たり、大変参考になった。

「富山県・匿名希望」

Reader's VIEW

Volume 1

読者のページ

読者の先生方からのご意見を紹介します

小規模校という「武器」を生かし、視野を広げる活動に共感

2月号「指導変革の軌跡」の長崎県立奈留高校の取り組みに関心を持った。今後、地方では少人数の高校が増えていく。固定化した狭い環境で、どれだけ広い視野を持たせられるかが重要だと思ふ。小規模だからこそ、小・中学校との連携は密接に出来るだろうし、異年齢の交流もしやすいはずだ。規模の小ささをむしろ武器にしたい。外に出掛けて刺激を受けることも出来るし、インターネットでは全世界とつながれる。強みを生かしつつ、出来ることにどんどんチャレンジしてほしい。

「岡山県立鳥城高校・杉山義則」

生徒の思いを受け止め、教師も真剣に対応を

2月号の「生きたデータの徹底研究」で紹介された「先輩データから見る2年生の悩み克服シート」の欄に、「先生へお願い」の項目を設けた点が印象に残った。授業評価などを設けても、学年が上がるに連れて適当に書く生徒が多くなるのが現状だ。生徒が真面目に書いたものには教師も真剣に対応し、そうしたことを低学年から積み重ねていけば、教師も生徒も良い方向に向かうのではないかと感じた。

「山形県・匿名希望」

教師川柳

春春春満面の笑み旅立ちぬ

奈良県・私立奈良育英中学・高校・久保貴芳

『VIEW21』高校版はウェブサイトでもご覧いただけます！

本誌の最新号、及びバックナンバーは、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでご覧いただけます。誌面のPDFや「改良！指導ツール ピフオーアフター」の図版もダウンロードできます。ぜひご利用ください。

詳しくは

VIEW21 高校版

検索

<http://berd.benesse.jp/magazine/kou/>



編集後記

◎今号の特集で紹介した3校の事例、そして座談会に共通していたのは、探究学習が、生徒の教科の学びへの意欲と、教師の教科指導力を向上させる可能性を秘めていることを、実践されている先生方が実感している点です。生徒が教科学習に主体的に取り組むようになれば、探究と習得のベストミックスの実現に大きく近付くのではないかと感じました。次号は、数学・理科が新課程での出題となった2015年度入試の結果を通して、新課程指導を振り返ります。(柏木)

VIEW21 4月号 Vol.1

2015年4月7日発行

発行人 山崎昌樹
 編集人 春名啓紀
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所
 印刷製本 凸版印刷(株)
 編集協力 (有)ペンダコ
 執筆協力 中丸 満
 撮影協力 荒川 潤、田中秀和、谷口 哲、福山 哲、ヤマグチイッキ
 イラスト協力 浅沼リカ、伊藤美樹

VIEW21編集部
 〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2015

VIEW21

2015
June
6月
Volume 2

次号は
6月23日発行(予定)
『VIEW21』高校版は
年6回の発行です